

2015年12月21日

株式会社パスコ

(報道資料)

動態(移動体の状況)管理サービスに危機管理情報を追加 ユーザー待望の気象・震度・通行実績情報を実装しロジスティクス業務の支援を強化

株式会社パスコ(本社:東京都目黒区、代表取締役社長:目崎 祐史、以下:パスコ)は、物流業界向けに輸配送業務の効率化と品質向上を目的に、ドライバーや車両の状態を管理する「動態管理」と配送ルート最適化を図る「配送計画」機能を兼ね備えたロジスティクス支援サービス「LogiSTAR(ロジスター)」シリーズを提供しています。

このたび、「LogiSTAR」シリーズの1つである動態管理サービス「PASCO Location Service」に、ユーザーからの要望を反映した危機管理情報を実装、サービス強化を行い、12月21日より提供を開始いたします。

■ 背景

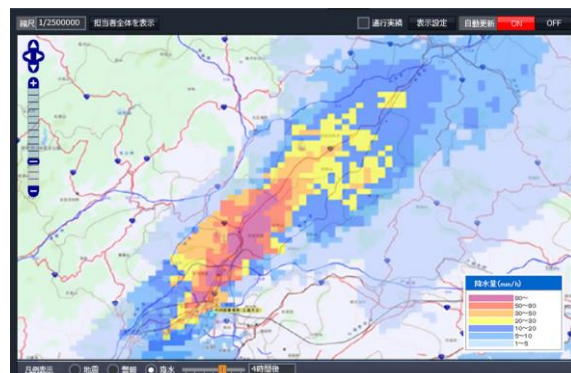
車両運行管理を行う上では、車両の正確な位置把握、作業進捗状況を把握することに加えて、道路交通状況だけでなく、豪雨・大雪・地震などの自然災害に関する情報を把握した上で、今後のリスクを踏まえた運行指示を出すことが求められています。

「PASCO Location Service」では、納品遅延の可能性を把握した上で、顧客への影響や自社の損害を予測し、迅速で的確な意思決定を支援するための機能として、道路交通状況、降雨情報、警報/特別警報、地震情報を表示する機能を実装しました。

■ 新たに提供する主な情報

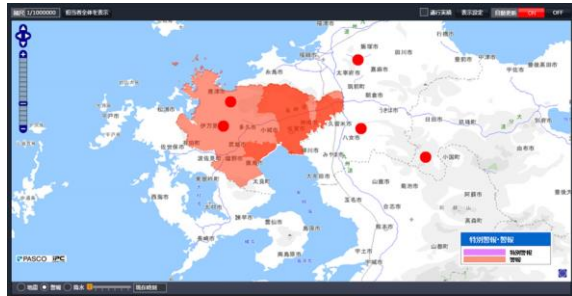
1. 降雨量情報

現在の降雨状況と6時間先までの予測情報を実装。降雨予測と車両の位置・作業状況を地図上で同時に把握できるため、豪雨・大雪が予測される地域を避けた配送順指示をすることが可能になります。また、豪雨・大雪が予測される地域に配送予定の車両に対して、荷卸し作業時の降雨用装備品等の事前準備が可能となります。



2. 警報・特別警報情報

気象庁発表の警報・特別警報の情報を実装。該当地域にいる車両を抽出し一覧表示できるため、状況確認など危機管理情報としてご利用いただけます。



3. 地震震度情報

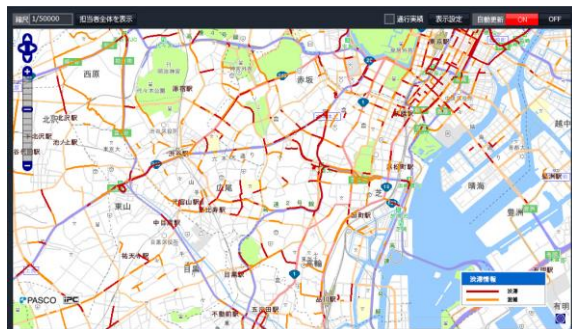
震度 4 以上を記録した地域を地図上で確認。警報・特別警報と同様に該当地域にいる車両を抽出し一覧表示できるため、状況確認など危機管理情報としてご利用いただけます。



4. 渋滞情報

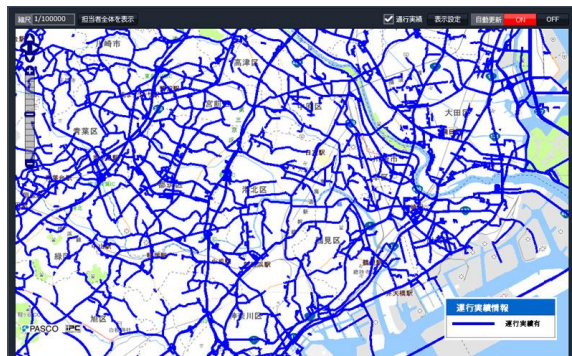
プローブデータ^(※)に基づいて収集された渋滞情報を地図上に表示。車両位置・作業状況を地図上で同時に把握できるので、遅延を事前検知した際における(初動)対応策を、より正確に行えるようになります。

(※)プローブデータ:通信カーナビの履歴データ



5. 通行実績情報

プローブデータに基づいて収集された通行実績のある道路を地図上に表示。大規模災害時や大雪などの異常気象時における(初動)対応策をより正確に行えるようになります。



■ 動態管理サービスの概要

2005年よりパスコの空間情報技術を豊富に盛り込んだ動態管理システムをクラウドサービスとして提供を開始。スマートフォン、タブレット等のスマートデバイスに加えて、様々なM2M^(※)端末、業務用カーナビ等との連携を実装しています。さらに、現在に至るまでユーザーの声を反映した機能強化を実施し、輸配送事業者を主として大手新聞社にも導入いただくなど、実績のあるサービスです。

今後、パスコは輸配送における運行管理業務の高度化に加え、道路情報を活用した高精度な配車計画システムなど他のLogiSTARシリーズとの連携をさらに深化し、「より高度な運行管理」を可能にする輸配送業務におけるトータルソリューションの確立を目指します。

(※)M2M:機械同士の通信、ネットワークを介して情報をやり取りし動作や制御を行うことをいう

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社パスコ

(報道機関) 広報部 TEL:03-3715-1048

(お客様) カスタマーセンター TEL:0120-494-800

お問い合わせフォーム <http://www.pasco.co.jp/contact/>